

第5回 北海道大学 映像・現代文化論学会大会

～プログラム～

◎日程 2021年11月6日(土) 11時～17時30分
◎方式 オンライン開催(事前登録制)
◎主催 北海道大学大学院文学研究院 映像・現代文化論研究室

・開会の辞

総合司会 応 雄
中村 三春

○研究発表

『処女ゲバゲバ』から見る大和屋笠とエロダクション運動

博士後期課程 崔 文婕
司会 博士後期課程 堅田 諒

—昼食休憩— *13時再開

宮澤賢治『春と修羅』『注文の多い料理店』論 —— 作中世界の構造を中心に ——

博士後期課程 クジェル イジー
司会 修士課程 邵 天一

太宰治「ろまん燈籠」におけるリライトの問題

修士課程 田中 帆南
司会 修士課程 金 建睿

村上春樹『アフターダーク』における記憶の回帰

修士課程 沈 嘉林
司会 博士後期課程 肖 禾子

○講演 *15時40分より

松本清張と東宝サラリーマン映画の邂逅

—— 「黒い画集」シリーズを中心に ——

日本大学教授 志村三代子

・閉会の辞

水溜 真由美

(肩書の記載のないものは、映像・現代文化論研究室教員)